



# こんにちは

日本共産党

よねだ 稔

## 米田みのもるです

### 県議会活動報告

「赤旗」読者ニュース

2018年10月21日

No. 914

Faxも同じです

ケータイは、090-1578-8588

▷事務所 841-2777 ▷県議会控室 823-9524 ▷自宅 841-5468 高知市長浜5183-37

## 被ばく船員救済に道

### 高知県議会 吉良県議が質問

日本共産党の吉良寛彦高知県議は2日の県議会で一般質問し、司法が初めて第五福竜丸以外の漁船員の核実験による被ばくを認めたと指摘した。

吉良県議は「被ばくを30年以上調査、追跡してきた太平洋核被災支援センターの山下正寿事務局長が「民間団体の調査には限界がある」と指摘していることもあげ、県が被災船員の追跡調査をするよう求めました。

高知新聞が大々的な見出しで報道

## 知事「被ばく、痛切」

### 救済へ立法化提言も

#### 国会議員提案 高知県議提言

この11月、議員は、核兵器禁止条約の条の核実験被害者救済の課題解決の提案として、「国連軍縮会議が高知」を提案。知事は、機会をみて、と答弁。

尾崎知事は「二義的には国の責任において実施されるべきもの」とのべ、「県にはビキ二被ばくに関する記録が残っており、県として追跡調査をすることは困難だが、太平洋核被災支援センターなどが追跡調査を継続的に実施していけるよう

「しんぶん」赤旗「日刊紙」より

## 脱貧困へ

### 寄り添い支援

#### 高知で全国集会

13、14日、ワシントン・サラ金被害対策や生活再建にどう対応するか、支援者等の交流集会。サラ金と全同士の、銀行カードローンによる自殺・多量債務、ヤマンスト依存症、国保の滞納、健保、高年齢者の住宅確保など、課題、伴って支援、ネットマークの対策等議論がなされた。

## 再刊周年

唯一の地方政治新聞、高知民報が再刊50年になりました。(1968年・S43。創刊は1947年・S24)私が高知に来てから(1971年)とほとんどがたふり、何が感慨深いものがあります。

現編集長初め、元記者、支えられた読者等のみなさんには心から感謝と敬意を表します。週刊・月刊田どうぞで購読下さい。県民の斗いと生活が狭く、リアルに、過かか報道を求めています。

文化、スポーツ、闘い……そして食飲の秋、みなさん、どう楽

しんぶんから

この一ヶ月、妻は生きたばかりの、系守りかに系系住復。じいじは、孤食に食ひます。

かけ足で県展へ。

21日まで(大学の先輩益さん(洋画)、県議団山本事務局長(写真))が初入室、すいい……

## よねちゃん

唯一の地方政治新聞、高知民報が再刊50年になりました。(1968年・S43。創刊は1947年・S24)私が高知に来てから(1971年)とほとんどがたふり、何が感慨深いものがあります。現編集長初め、元記者、支えられた読者等のみなさんには心から感謝と敬意を表します。